

令和6年度 研究発表大会 中学校チーム

チームメンバー

小林 美佳	坂本 久美	鈴木 高德
一瀬 大樹	天野秀太郎	平井 規夫

所内アドバイザー

重田 誠	伊藤 毅
------	------

山梨大学アドバイザー

秋澤 英俊	河西美代司	萩原 佳子
-------	-------	-------

研究推進校 (R6~)

都留市立都留第一中学校

令和7年2月26日 (水)

山梨県総合教育センター



中学校チーム 主題・副主題

**教師の指導力向上につながる
校内研究支援の在り方**

— **対話的な学びの充実につながる
校内研究支援を通して** —



I 研究主題・副主題

研究推進校

都留市立都留第一中学校（1年目）

研究主題・副主題

他者と協働し、主体的に学びに向かう生徒の育成

— 協働できる集団づくりを通して —



II 研究の目的

研究推進校のニーズや実情を大切にして、教員一人一人の授業改善につながる校内研究の実現を目指す本センターの研究支援が、研究推進校に対してどのような成果と課題をもたらしたかを検証し、校内研究の支援の在り方を探る。

総合教育センター



研究推進校の
ニーズや実情



研究推進校



研究の方法

- ・ 教師の変容を見取るため、校内研リフレクションシートを活用し、検証の手立てとする。
- ・ 研究主題を具現化するため、情報提供や指導・助言をする。
- ・ 日頃の授業の様子を参観し、校内研究の成果をどのように授業改善へつなげているか情報交換する。



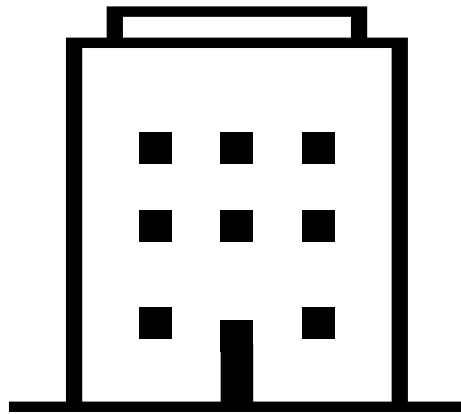
研究の経過（研究推進校訪問を中心に）

- ① 4月 4日 校内研究会（研究計画提案）
- ② 4月12日 研究の方向性について
- ③ 4月30日 校内研究会（学級づくりについて・推進校職員による講話）
- ④ 5月29日 校内研究会（授業観察計画づくり）
- ⑤ 6月14日 学校訪問（研究支援打合せ）
- ⑥ 7月 3日 校内研究会（授業観察から）
- ⑦ 8月20日 校内研究会（都留文科大学にて講師講演）
- ⑧ 9月 4日 学校訪問（授業観察 国語 社会 数学 家庭科）
- ⑨ 9月17日 校内研究会（Q-U学習会 センター指導主事による講義）
- ⑩ 10月22日 学校訪問（授業観察 家庭科）
- ⑪ 11月18日 学校訪問（授業観察 美術）
- ⑫ 11月25日 学校訪問（一人一実践 研究授業 研究会 家庭科）
- ⑬ 1月14日 校内研究会（授業観察、Q-U分析から）
- ⑭ 1月29日 学校訪問（全国学調事前調査 研究支援打合せ）
- ⑮ 2月 3日 校内研究会（来年度の方向性について検討）

V 具体的な取組

今年度の研究支援の具体

総合教育センター



研究推進校の
ニーズや実情



研究推進校



- 1 校内研究会リフレクションシートの提案
- 2 校内研究主題に関する学習会
- 3 指導案検討、研究授業の実施（家庭科）

研究の柱（研究推進校の研究計画から）

**柱 1 居心地の良い学級づくりのための、
教師の指導力向上**

**柱 2 授業研究を通じた教師の授業スキルの向上と
生徒の学力向上**



V 具体的な取組

1 校内研究会リフレクションシートの提案

R6 校内研究会リフレクションシート		所 属 () 年 ・ 性別 氏 名 ()
学校教育目標		
↓		
研究主題	他者と協働し、主体的に学びに向かう生徒の育成	
副 題	～協働できる集団づくりを通して～	
↓		
目指す子どもの姿 育成を目指す資質・能力		
【年度はじめ】 () 月 () 日		
☆ 「目指す子どもの姿・育成を目指す資質・能力」に向けて取り組もうと考えていること【P】		
☐ Keep (良さ・継続していきたいこと) . ☐ Problem (課題) .	☐ Try (今年度具体的に取り組みたいこと) .	
↓ ↓		
【年度途中】 () 月 () 日		☆「Try」を意識した子どもたちとの関わり【D】 ☆ 校内研究や研修を通しての先生たちの学び【D】
☆ 【年度はじめ】に立てた自身の取り組みを振り返ってみましょう。【C】 		
↓		↓
【年度末】 () 月 () 日		
☆ 「目指す子どもの姿・育成を目指す資質・能力」に向けて取り組もうと考えていること【A】		
☐ Keep (成果が見られ、継続したい点) . ☐ Problem (解決すべき課題) .	☐ Try (これから取り組みたいこと) .	

[illegible]

V 具体的な取組

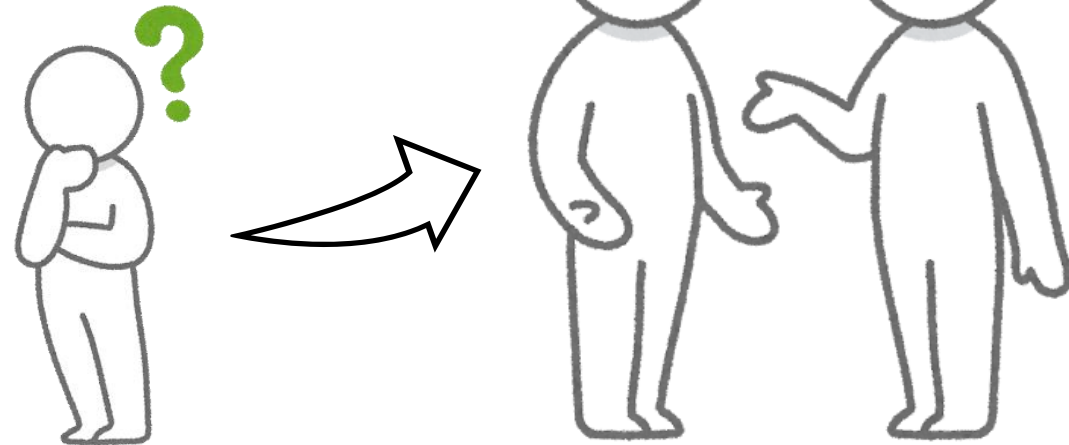
2 校内研究主題に関する学習会



V 具体的な取組

3 指導案検討、研究授業の実施

指導案検討
研究授業の実施



研究授業を通して、教科の理論を
実践へと繋げていく機会

1 校内研究会リフレクションシート



研究会後、リフレクションシートを活用

リフレクションシートから（学習会後の学級分析を経て）

【研究会の満足度(数字)と満足度に対する理由(記述抜粋)】

- ・ 5 個々の生徒や小グループ、クラスに対する**新たな視点や留意すべきことを学ぶ事ができた**
- ・ 5 **自分にはなかった視点や気づきが多く得られた**
- ・ 4 よりよい方向へ向かうための方策を、個人・班単位で**具体的に考えられた**
- ・ 4 どんな風に応用できるかなと**考えながら参加できた**
- ・ 5 学級についての**新たな学びがあった**
- ・ 5 学級の状況や、授業の見方など**多くの面を学ぶことができたのでよかった**
- ・ 5 授業の様子を分析して、学級経営を考えるのが**面白かったです**
認められる場を作ることに力を入れたと感じました



学習会の内容を基に、分析の視点を獲得

リフレクションシートから（学習会後の学級分析を経て）

【今日の研究会の内容から具体的に組みたいこと】

- 今回のワークショップの内容を自分の学級にどのように活かすかを考えていきたい
特に、学級活動や授業を通して生徒同士の関わりを深めることや個別で話す時間を設けたり、こちらから全体で認める場を作れるように仕組んだりしながら、リーダーを育成することに取り組んでいきたい
- 生徒間の関わりを増やすために、まずは自分自身が生徒と人間関係をつくること
- 個々で話が必要な生徒、全体での話が必要な生徒、適した場面で指導をすること
先生方と話をすることで気づけなかった視点が見えてくるからこそ、多くの先生に相談をすること
- 朝の会、帰りの会でのミニレク
- 教科担当の先生をはじめ、多くの先生方との情報共有をもっとしようと思えました



今後の取組について、内省を行う場面

2 校内研究主題に関する学習会



〈主な講義内容〉

- ・ 校内研究主題と山梨県学校教育指導指針との関わり
- ・ Q-Uの特徴、内容について
- ・ 学級集団づくりに関する情報提供
- ・ 分析結果の見方、配慮や対応例

2 校内研究主題に関する学習会

Q-U学習会の実施、学習内容を基に現状分析



リフレクションシートから（２回目の学級分析）

【今日の研究会の内容から具体的に組みたいこと】

- ・ **ソーシャルスキルという観点**から、社会や新しい環境での人との関わり方について生徒に考えさせるような時間や活動を取り入れたい
- ・ 生徒対教員の意見の交換だけではなく、生徒同士での対話をより増やし、**生徒同士で意見や考えを深められるような授業を展開していきたい。**
- ・ QUの話し合いで出たことを授業時などに意識し、**個々の生徒の対応やグループワークなどでいかすことで、アプローチしたい。**
- ・ Q Uの分析は気になる生徒を中心に話し合うことができたことで対応の参考になった。その後の経過（生徒の様子・さらなる対応）がどうなっているか**情報交換をしてみたい。**



具体的な方策を考え、アウトプット

3 指導案検討、研究授業の実施（家庭科）

研究授業、授業研究会の企画、指導案作成を支援



〈研究授業〉

- ・ 日時 令和6年11月25日(月)
- ・ 対象クラス 1年1組 ・ 技術・家庭科（家庭分野）
- ・ 題材名 B 衣食住の生活 (2)「中学生に必要な栄養を満たす食事」

3 指導案検討、研究授業の実施（家庭科）

研究授業、授業研究会の企画、指導案作成を支援



〈研究協議〉

- ・ 推進校教職員
 - ・ 家庭科担当（本センター、山梨大学、都留文科大学）
 - ・ 本センター
- 3つのグループから、授業実践に対しての考察を意見交換

研究支援全体の成果、課題、来年度に向けて

○推進校の**ニーズや実情を大切に**しながら研究支援を行う

○生徒同士が対話を行うことに對し、推進校の教師が**意識を高める**ことへ繋げる

○**授業改善のきっかけ**を与える



▲本センターから提案した活動について、**活用方法を検討**すること

▲分析や学習した内容を**具体的な取組や実践に生かして**いくこと

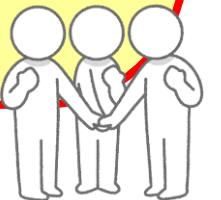
▲**直接支援していない教科**についての授業改善の状況把握



・推進校とより一層共通理解を図り、校内研究主題の実現に向けた、本センターの研究支援を進めていく

・推進校が研究したい内容に沿った学習会等の提案、チームの枠を超えた研究支援の内容についても検討

・1年目の活動を形骸化せず、授業改善をより具体化していく手立ての検討



研究推進校の先生方へ

都留市立都留第一中学校の皆様



研究推進校としての取組に感謝いたします